



	火曜日	水曜日	木曜日	金曜日
	7月1日	7月2日	7月3日	7月4日
	むぎごはん、マーボーとうふ、シューマイ、さんしょくあえ、ちゅうかスープ、ローリー	ロールパン、ひやしうどん、メンチカツ、パンパンジーサラダ、ぎゅうにゅう、バナナ	ごはん、すきやきふううまに、あつやきたまご、カニカマサラダ、ごもくみそ汁(とうふ・さといも)、オレンジ	ごもくごはん、あじのおおばフライ、スパサラダ、すましじる、プリン
	米、もち麦、豚ひき肉、木綿豆腐、にら、マーボ豆腐の素、ポークシューマイ、きゅうり、緑豆もやし、にんじん、しょうゆ、カットわかめ、たまねぎ、卵、ごま、中華味、ローリー、	ロールパン、干しうどん、天かす、万能ねぎ、創味めんつゆ、メンチカツ、油、鶏ささ身、きゅうり、キャベツ、胡麻ドレッシング、牛乳、バナナ、	米、豚肉、はくさい、糸蒟蒻、かまぼこ、ねぎ、卵(厚焼き卵)、カニカマ、キャベツ、きゅうり、マヨネーズ、木綿豆腐、さといも、だいこん、ねぎ、油揚げ、かつお・昆布だし汁、米みそ(淡色辛みそ)、オレンジ、	米、鶏コマ、ごぼう水煮、にんじん、干しいたけ、ちくわ、油揚げ、和風だしの素、しょうゆ、砂糖、鰹の大葉フライ、油、スパゲティ、きゅうり、ハム、マヨネーズ、木綿豆腐、かまぼこ、ねぎ、和風だしの素、しょうゆ、プリン、
7月7日	7月8日	7月9日	7月10日	7月11日
いちごジャムパン、たなばたそうめん、たこやき、ブロッコリーサラダ、あおりんごゼリー、ぎゅうにゅう	ごはん、チキンカツ、さといもに、やさしいため、みそしる、ヨーグルト	ちゅうかどん、ほうれんそうのおかかあえ、マカロニのあべかわ、ワカメスープ、ミニゼリー	ごはん、とりにくのトマトに、チーズオムレツ、だいこんサラダ、はるうさめスープ、オレンジ	ごはん、ソースカツ、ひじきごもくに、ハムサラダ、みそしる、プリン
イチゴジャムパン、干しそうめん、錦糸卵、オクラ、ネギ、ハム、創味めんつゆ、たこ焼き、ブロッコリー、コーン缶、ツナ、胡麻ドレッシング、青りんごゼリー、牛乳、	米、チキンカツ、里芋、いか、しょうゆ、和風だしの素、砂糖、豚肉、キャベツ、ピーマン、もやし、コンソメ、だいこん、えのきたけ、油揚げ、和風だしの素、赤みそ、ヨーグルト、	米、豚肉、いか、にんじん、はくさい、筍、中華味、片栗粉、ほうれん草、かつお節、しょうゆ、マカロニ、きな粉、砂糖、カットわかめ、たまねぎ、ごま、和風だしの素、しょうゆ、ミニゼリー、	米、鶏肉、たまねぎ、カットトマト缶、コンソメ、チーズオムレツ、だいこん、きゅうり、かつお節、和風ドレッシング、はるうさめ(緑豆)、はくさい、にんじん、えのきたけ、ねぎ、鶏がらスープ、しょうゆ、ごま油、オレンジ、	米、豚カツ、油、とんかつソース、長ひじき、大豆水煮、にんじん、油揚げ、ちくわ、しょうゆ、みりん、砂糖、キャベツ、きゅうり、ハム(細切り)、マヨネーズ、木綿豆腐、カットわかめ、焼ふ、ねぎ、和風だしの素、赤みそ、プリン、
7月14日	7月15日	7月16日	7月17日	7月18日
チキンライス、ハンバーグ、グリーンサラダ、コンソメスープ、ローリー	ごはん、さごしのさいきょうやき、あつあげぼにもの、ごまあえ、とんじる、バナナ	こくとうロール、冷やしちゅうか、ミートボール、ツナサラダ、ぎゅうにゅう、ミニゼリー	ごはん、からあげ、きんぴらごぼう、コーンサラダ、みそしる、フルーツポンチ	なつやさいカレー、たまごサラダ、チーズ、オレンジ
米、鶏肉、たまねぎ、にんじん、ケチャップ、ハンバーグ、ブロッコリー、キャベツ、きゅうり、マヨネーズ、ポークウインナー、たまねぎ、にんじん、じゃがいも、コンソメ、ローリー、	米、サゴシ西京焼き、厚揚げ、はくさい、和風だしの素、しょうゆ、砂糖、ほうれん草、にんじん、ごま、しょうゆ、豚肉、だいこん、にんじん、ごぼう水煮、里芋、糸蒟蒻、ねぎ、和風だしの素、赤みそ、バナナ、	黒パン、干し中華めん、きゅうり、ハム、錦糸卵、冷やし中華のたれ、ミートボール、ツナ、キャベツ、きゅうり、マヨネーズ、牛乳、ミニゼリー、	米、鶏肉、から揚げ粉、油、鶏ひき肉、千切り牛蒡、にんじん、ごま、和風だしの素、しょうゆ、砂糖、キャベツ、きゅうり、コーン缶、和風ドレッシング、里芋、はくさい、油揚げ、和風だしの素、赤みそ、アレンジダイゼリー、梨、アレンジダイゼリー巨峰、みかん缶、	米、豚肉、かぼちゃ、なす、じゃがいも、たまねぎ、にんじん、カレーウフレック、卵、きゅうり、ハム、マヨネーズ、チーズ、オレンジ、

## わんぱくだより 7月号

### 野菜がおいしい「菜汁」

野菜が苦手な子どもに食べやすい「菜汁」。野菜には「苦味」や「えぐ味」がありますが、数種類の野菜を組み合わせ、しっかりと煮ることで、特有の味を感じにくくすることができます。健康のためには、野菜を十分にとることが大切です。毎日食べても飽きない「菜汁」を、家庭の食卓に取り入れてみませんか？

#### ★菜汁の良さ

- 副菜になる**  
毎日の献立で、「主菜は決まっても、もう一品の副菜は何にしよう？」と、迷うことがあります。そんな時に「副菜は、菜汁でOK!」と考えれば、ストレス軽減。冷蔵庫にある食材で、手軽に野菜を食べることができます。
- サラダより野菜をたくさんとれる**  
加熱すると野菜のかさ(量)が減るので、無理なく、たくさんの野菜を食べることができます。
- 栄養素を逃さず摂取できる**  
菜汁では、煮汁に溶け出す栄養素を逃さず、一緒に摂取することができます。
- 飽きずに食べられる**  
みそ・コンソメ・中華だしの素などを使い分ければ、和風・洋風・中華風の菜汁を作ることができます。主菜に合わせて汁の味を変えることができますので、飽きることなく食べすめられます。
- 作るのが簡単!**  
汁だからこそ、面倒な下ゆでや水きりがいっさい必要ありません。野菜を切りながら鍋に投入し、煮れば、出来上がり! 難しいレシピを見なくても作るができます。

味を決める

出汁・パンク等を使って和風にすま、コンソメ味にするかなど、味を先に決めてから、食材を揃えましょう。

切る

子どもに合わせて食べやすく切りましょう。切り方によって食感が変わるので、いろいろ試してみよう。

煮る

子どもの食事では、やわらかく煮るのがポイント。最初からすべての材料を入れて、味がわからなくなるまで煮ましょう。

#### ★菜汁の具・野菜の栄養

野菜には多くの健康効果があります。

ビタミン・ミネラル補給	体の機能を維持し、エネルギーを生み出す際に使われます
食物繊維補給	腸内環境を整え、排便を促します
肥満予防	低カロリー・低脂質でも、かさ(量)があるので満腹感が得られ、食べ過ぎを防ぎます
疾患予防	脳卒中、心疾患、ある種のがんなどの罹患率を下げる事がわかっています

#### ★菜汁をおいしくするコツ

- 旬の野菜を使う**  
旬の野菜は、えぐみが少なく、甘くておいしい! さらに、価格も安いので使いやすいです。
- 甘い野菜・いもを使う**  
汁に野菜の甘みが溶け出し、子どもにも食べやすい味にまよります。
- ちよい足し食材でアレンジ**  
いつもの菜汁に、材料をひとつずつ足すだけで、味、香り、コクが変化します。
- 冷凍保存で手軽にうまみをプラス**  
うまみが豊富なきのこ類や油あげは、購入した時に切って冷凍保存しておく便利です。

#### ★菜汁・具の組み合わせ

■和風の「菜汁」  
出汁で具を煮て、みそ(又は塩・しょうゆ)で味付け

■洋風の「菜汁」  
水+コンソメで野菜を煮て、塩で味付け